

ばばだめ! 広島サンダーズ

久原 大輝

SVリーグになり、レギュレーションが44試合に増加。複数チームと6試合戦わなければならない。そのうち、1チームは大阪ブルテオン（旧パナソニック）だ。

近年サンダーズが最も苦手としているチームの一つ。昨シーズンのVリーグと天皇杯のセミ

◎ 苦手大阪B破り 自信

ファイナルで対戦しており、0-3で敗戦している。昨年の4位を上回るには、倒さなければならない相手である。

19、20日と敵地での2連戦。19日は相手の攻撃にうまく対応できず1セット目を奪われる。

しかし、2セット目の中盤以降、徐々に流れがこちらへ傾きかける。効果的なサーブが入るようになり、それに応じてブロックとディフェンスが機能。攻撃では両エースのロケ選手、カメホ選手や三輪大将選手、安永拓弥選手が要所で真ん中からクイックを決め、3セット目以降は完全にサンダーズのペースで試合が進む。最終セットは前田一誠選手のサーブから6連続得点を取り、その勢いそのまま勝利をつかむ。

大阪Bからの勝利は実に2019年シーズン以来。2戦目は残念ながら敗れたが、1勝したこと自信になった部分もある。

次戦は来年の2月。次こそは2連勝し苦手意識を完全に払拭したい。（広島Tマネジャー）

大阪Bに勝利後の
記念写真（19日）

